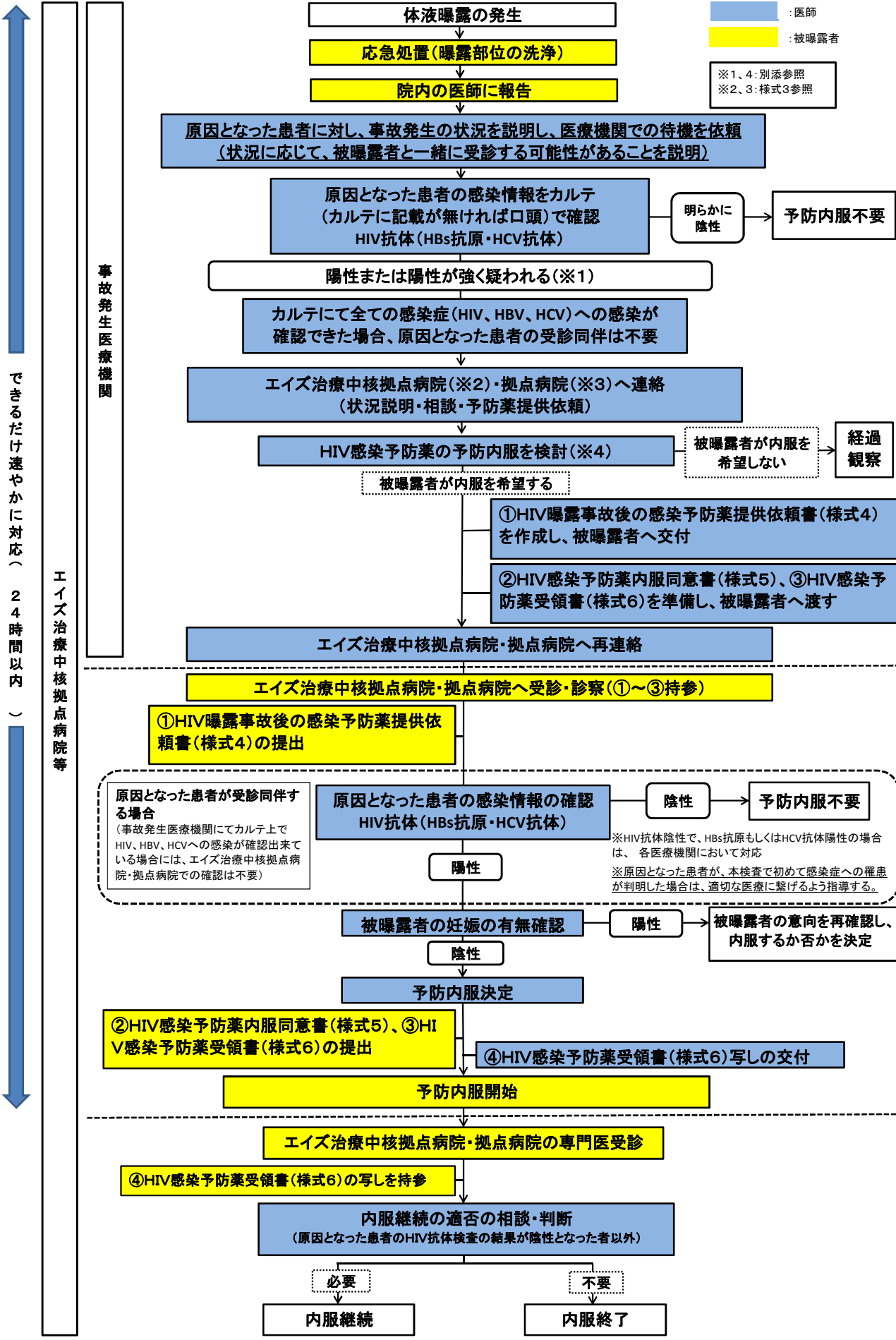


# HIV曝露発生時の予防内服フローチャート(緊急対応用)



■ : 医師  
■ : 被曝者

※1、4: 別添参照  
※2、3: 様式3参照

できるだけ速やかに対応(24時間以内)

事故発生医療機関

エイズ治療中核拠点病院等

原因となった患者が受診同伴する場合  
(事故発生医療機関にてカルテ上でHIV、HBV、HCVへの感染が確認出来ている場合には、エイズ治療中核拠点病院・拠点病院での確認は不要)

原因となった患者の感染情報の確認  
HIV抗体(HBs抗原・HCV抗体)

陰性 → 予防内服不要

※HIV抗体陰性で、HBs抗原もしくはHCV抗体陽性の場合、各医療機関において対応  
※原因となった患者が、本検査で初めて感染症への罹患が判明した場合は、適切な医療に繋げるよう指導する。

被曝者の妊娠の有無確認

陽性 → 被曝者の意向を再確認し、内服するか否かを決定

②HIV感染予防薬内服同意書(様式5)、③HIV感染予防薬受領書(様式6)の提出

④HIV感染予防薬受領書(様式6)写しの交付

内服継続の適否の相談・判断  
(原因となった患者のHIV抗体検査の結果が陰性となった者以外)

必要 → 内服継続

不要 → 内服終了